

平成26年度ごみ処理実績表

1 平成26年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	平成26年度	平成25年度	増減	対前年度比
人 口（人）	590,209	585,503	4,706	100.8%
世 帯 数（世帯）	268,367	264,042	4,325	101.6%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	平成26年度(t)	平成25年度(t)	増減(t)	対前年度比
排 出 量	188,817	193,109	-4,292	97.8%
排出量（集団資源回収を除く）	174,236	177,900	-3,664	97.9%
一 般 ご み	148,568	150,961	-2,393	98.4%
粗 大 ご み	5,529	6,148	-619	89.9%
資 源 物	20,078	20,696	-618	97.0%
びん	3,883	3,940	-57	98.6%
飲料かん	1,470	1,521	-51	96.6%
金 属 類	1,386	1,448	-62	95.7%
ペ ッ ト ボ ト ル	1,936	1,981	-45	97.7%
織 維 類	1,865	1,974	-109	94.5%
紙 類	6,142	6,338	-196	96.9%
プラスチック製容器包装	3,396	3,494	-98	97.2%
乾 電 池	51	86	-35	59.3%
有 害 ご み（蛍光管）	9	7	2	128.6%
集 団 資 源 回 収	14,581	15,209	-628	95.9%
災 害 廃 棄 物	1	2	-1	50.0%

※平成26年度における災害廃棄物は、粗大ごみ110kg

※平成25年度における災害廃棄物の内訳は、一般ごみ610kg、粗大ごみ1,190kg

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	平成26年度(t)	平成25年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	127,105	129,581	-2,476	98.1%
一 般 ご み	101,528	102,777	-1,249	98.8%
粗 大 ご み	5,499	6,089	-590	90.3%
資 源 物	20,018	20,622	-604	97.1%
乾 電 池	51	86	-35	59.3%
有 害 ご み（蛍光管等）	9	7	2	128.6%
事業系	47,130	48,317	-1,187	97.5%
一 般 ご み	47,040	48,184	-1,144	97.6%
粗 大 ご み	30	59	-29	50.8%
資 源 物	60	74	-14	81.1%

※災害廃棄物は含まない。

中間処理量比較表（対前年度比）

	平成26年度(t)	平成25年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却処理	154,655	157,511	-2,856	98.2%
破砕処理	4,071	4,636	-565	87.8%
資源化処理	20,082	20,701	-619	97.0%

最終処分量比較表（対前年度比）

	平成26年度(t)	平成25年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	7,122	7,822	-700	91.1%
資源化物	30,786	31,502	-716	97.7%
処理困難物	113	137	-24	82.5%

※ 平成34年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は4,800 t

資源化物比較表（対前年度比）

	平成26年度(t)	平成25年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	30,786	31,502	-716	97.7%
焼却残渣金属	658	632	26	104.1%
未酸化鉄	879	934	-55	94.1%
未酸化アルミ	85	86	-1	98.8%
溶融スラグ	8,898	9,104	-206	97.7%
焼却残渣物（セメント資源）	798	494	304	161.5%
再生粗大ごみ	9	8	1	112.5%
破砕前金属	181	193	-12	93.8%
破砕後金属	688	783	-95	87.9%
破砕前アルミ屑	27	30	-3	90.0%
破砕後アルミ屑	17	16	1	106.3%
びん	3,754	3,791	-37	99.0%
飲料かん	1,158	1,189	-31	97.4%
金属類	1,152	1,209	-57	95.3%
繊維類	1,302	1,375	-73	94.7%
ペットボトル	1,610	1,684	-74	95.6%
紙類	5,974	6,165	-191	96.9%
プラスチック製容器包装	3,048	3,171	-123	96.1%
特定家庭用機器	11	11	0	100.0%
小型家電	477	534	-57	89.3%
乾電池	51	86	-35	59.3%
二次電池	0	0	0	—
蛍光灯	9	7	2	128.6%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	平成26年度(g)	平成25年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	876	904	-28	96.9%
1世帯1日あたり	1,928	2,004	-76	96.2%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日

※ 平成34年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は844g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

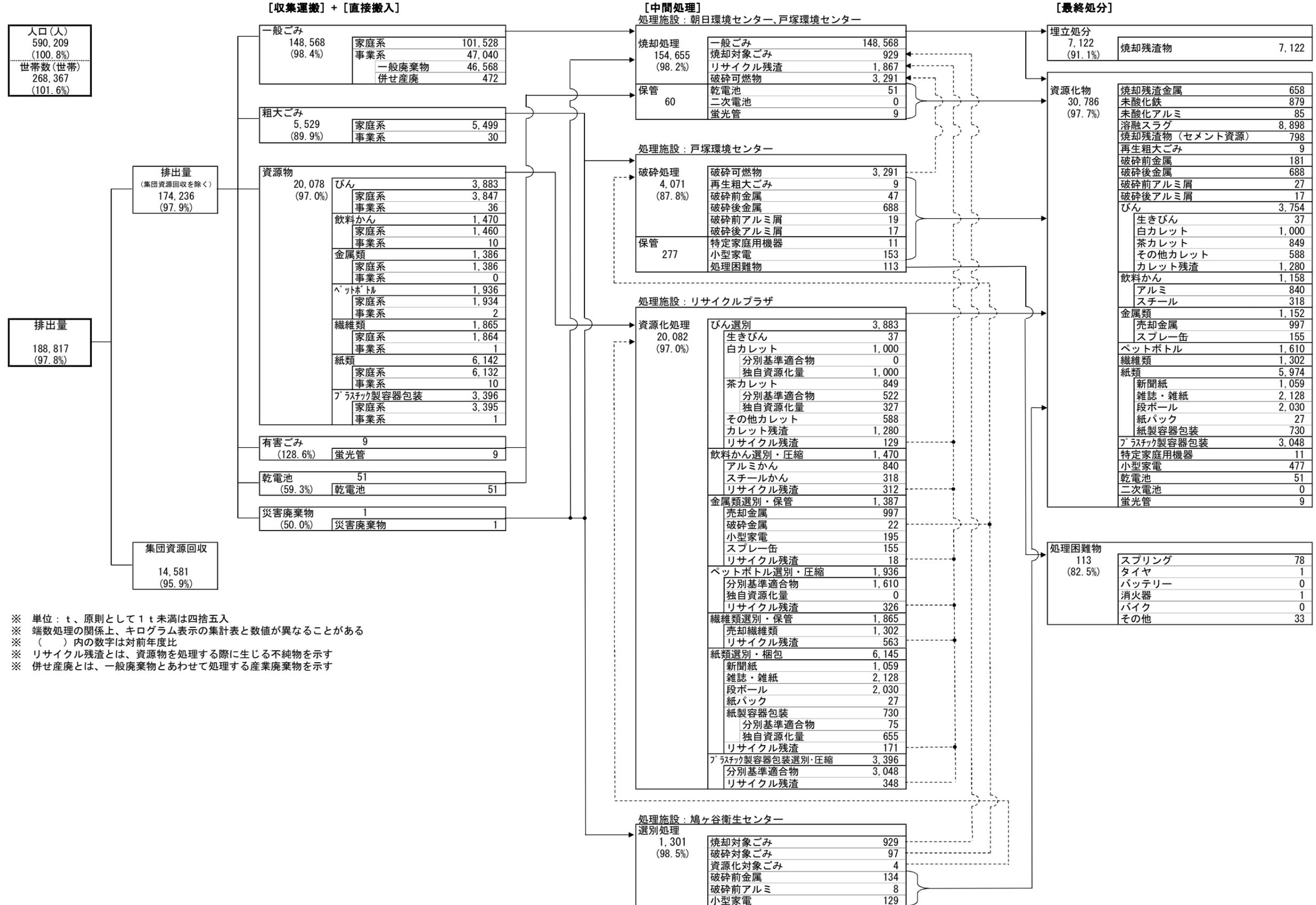
	平成26年度(g)	平成25年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	17.7%	17.7%	0.0	100.0%
リサイクル率(%)	24.0%	24.2%	-0.2	99.2%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 平成34年度を目標年度とするリサイクル率の目標は35.0%

2 平成26年度ごみ処理実績フローシート



※ 単位：t、原則として1t未満は四捨五入
 ※ 端数処理の関係上、キログラム表示の集計表と数値が異なることがある
 ※ () 内の数字は対前年度比
 ※ リサイクル残渣とは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
 ※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

平成26年度は、対前年度比4,292t(2.2%)減少した。

図1 排出量の推移

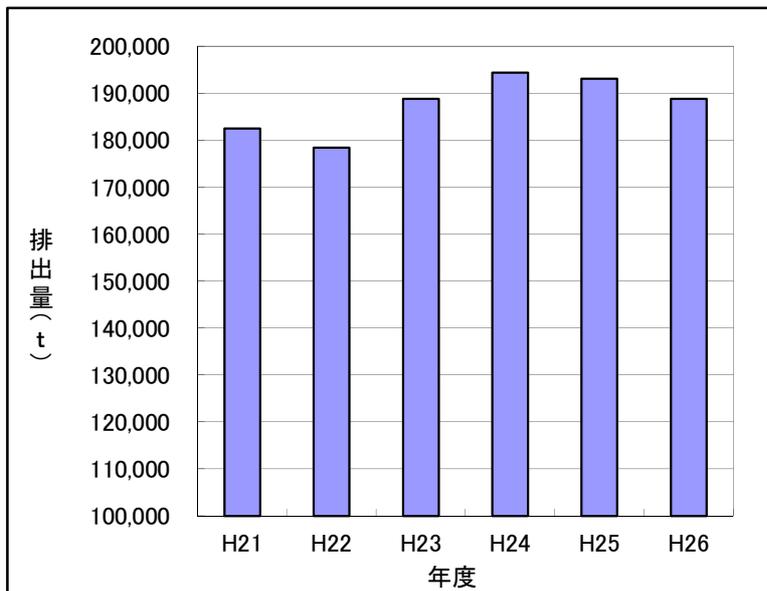


表1 排出量の推移

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
排 出 量	182,466	178,386	188,772	194,338	193,109	188,817
	-	97.8%	105.8%	102.9%	99.4%	97.8%

【下段は、対前年度比率】

※21年度22 t、22年度32 t、23年度29 t、24年度2 t、25年度2 tの、26年度1 tの災害廃棄物を含む。

(2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

平成26年度は、対前年度3,664 t(2.1%)減少した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

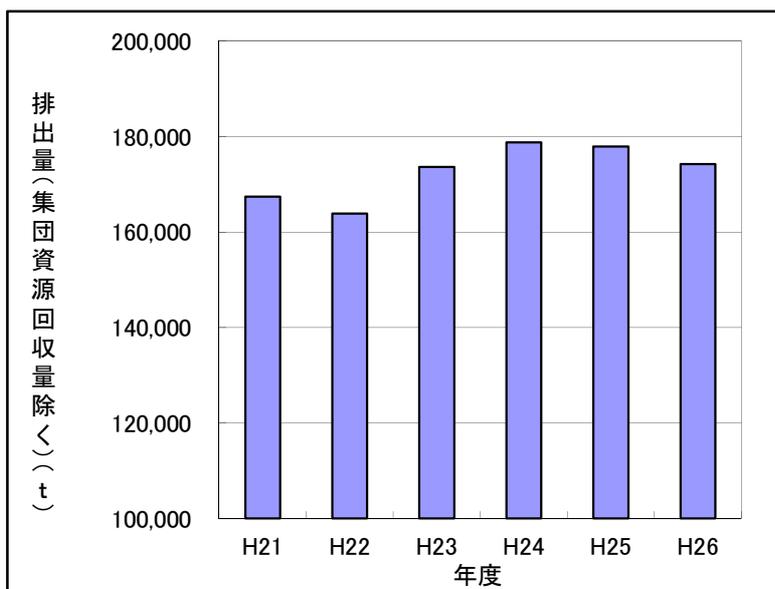


表2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
排 出 量 (集団資源回収量除く)	167,423	163,906	173,672	178,769	177,900	174,236
	-	97.9%	106.0%	102.9%	99.5%	97.9%

【下段は、対前年度比率】

※21年度22 t、22年度32 t、23年度29 t、24年度2 t、25年度2 tの、26年度1 tの災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

排出量（集団資源回収量除く）のうち、家庭系一般廃棄物の排出量については、旧鳩ヶ谷との合併の影響等で増加傾向にあったが、平成26年度は、対前年度比1.9%の減少となった。

事業系一般廃棄物の排出量は平成18年度以降一貫して減少傾向にあり、平成26年度は、対前年度比1,187t（2.5%）減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

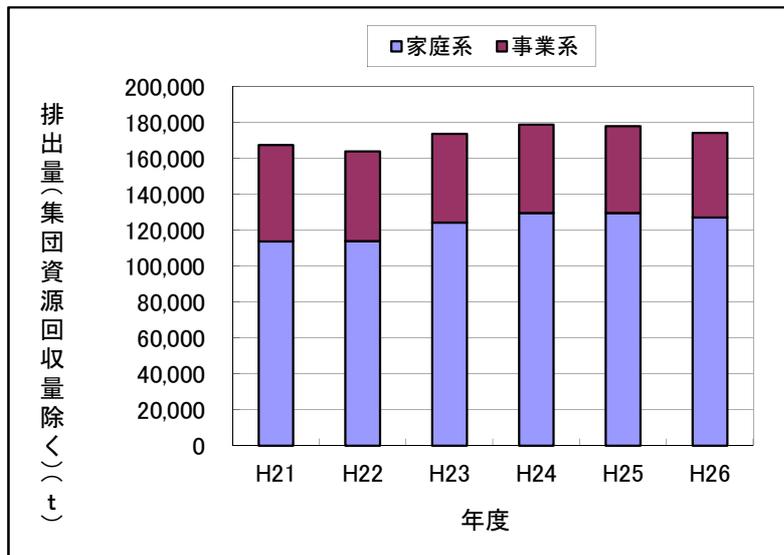


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
家 庭 系	113,626	113,944	124,138	129,474	129,581	127,105
	-	100.3%	108.9%	104.3%	100.1%	98.1%
事 業 系	53,775	49,930	49,505	49,293	48,317	47,130
	-	92.8%	99.1%	99.6%	98.0%	97.5%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

平成23・24年度は旧鳩ヶ谷市との合併の影響で増加したが、平成25年度以降減少傾向にある。

平成26年度は、対前年度比マイナス2,393tとなり、その内訳は、家庭系マイナス1,249t、事業系マイナス1,144tであった。

図4 一般ごみの推移

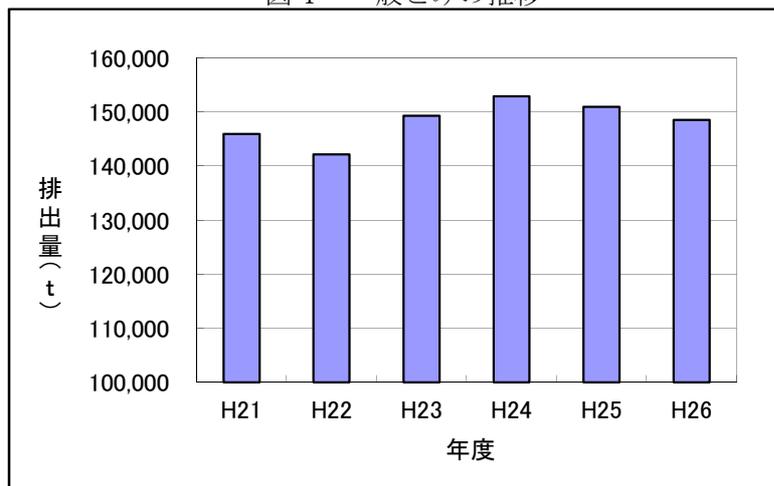


表4 一般ごみの推移

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
一 般 ご み	145,933	142,199	149,319	152,950	150,961	148,568
	-	97.4%	105.0%	102.4%	98.7%	98.4%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

平成21年度から一貫して増加傾向にあったが、平成26年度は、対前年度比マイナス619t（10.1%）となった。その内訳として、家庭系粗大ごみが590t減少、事業系粗大ごみが29t減少となった。

図5 粗大ごみの推移

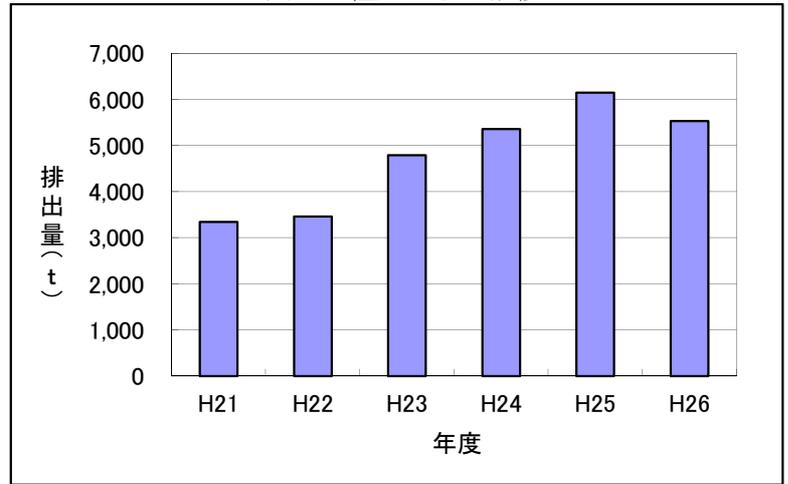


表5 粗大ごみの推移

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
粗 大 ご み	3,340	3,460	4,792	5,359	6,148	5,529
	-	103.6%	138.5%	111.8%	114.7%	89.9%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

平成26年度は対前年比618t減少した。その内訳としては、家庭系資源物が604t減少し、事業系資源物が14t減少している。

図6 資源物の推移

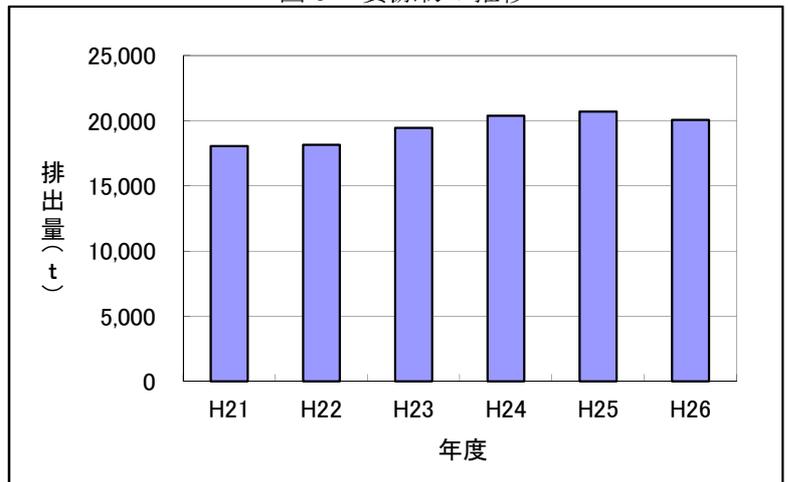


表6 資源物の推移

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
資 源 物	18,064	18,150	19,453	20,388	20,696	20,078
	-	100.5%	107.2%	104.8%	101.5%	97.0%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。